

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和3年4月30日

計画の名称	1 東大阪市のみどりの核となり、誰もが安全で安心して利用出来る都市公園の整備（防災・安全）（その2）（重点）									
計画の期間	平成28年度～令和2年度（5年間）		交付対象	東大阪市						
計画の目標	「東大阪市のみどりの基本計画」で本市のみどりの核として位置づけられる花園中央公園は、「東大阪都市計画花園中央公園基本計画」や「東大阪市地域防災計画」に基づき、日常は子供や高齢者をはじめ誰もが安全に安心して利用できると共に、災害時には広域避難地としての機能を発揮する総合公園としての整備を行う。また、市民協働での緑化活動の推進や市民に幅広く緑化に関する情報発信や情報交換ができる場として（仮称）緑化センターの整備を行う。									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 広域避難地である花園中央公園の避難対象可能人口を42千人(H28)から87千人(H32)に増加させる。 									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)				
① 花園中央公園における避難対象可能人口。 花園中央公園における避難対象可能人口値（人）＝評価時点の避難可能（整備）面積値×計画避難対象人口／計画公園面積値				42千人	52千人	87千人				
②										
③										
④										
全体事業費	合計 (A+B+C)	12,206百万円	A	12,206百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
東大阪市公園課にて実施	令和2年4月
	公表の方法
	東大阪市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H28	H29	H30	R1	R2			
A6-1	公園	一般	東大阪市	直接	東大阪市	都市公園事業（花園中央公園）	施設整備、用地買収7.06ha	東大阪市						3,085		
合計													3,085			
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H28	H29	H30	R1	R2		
合計																
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H28	H29	H30	R1	R2		
合計																

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

花園中央公園の用地買収及び施設整備を行い、開設面積が拡大した結果、避難可能人口が増加し、広域避難地としての防災機能が向上した。

II 定量的指標の達成状況	指標①花園中央公園における避難対象可能人口	最終目標値	87千人	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	88千人		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

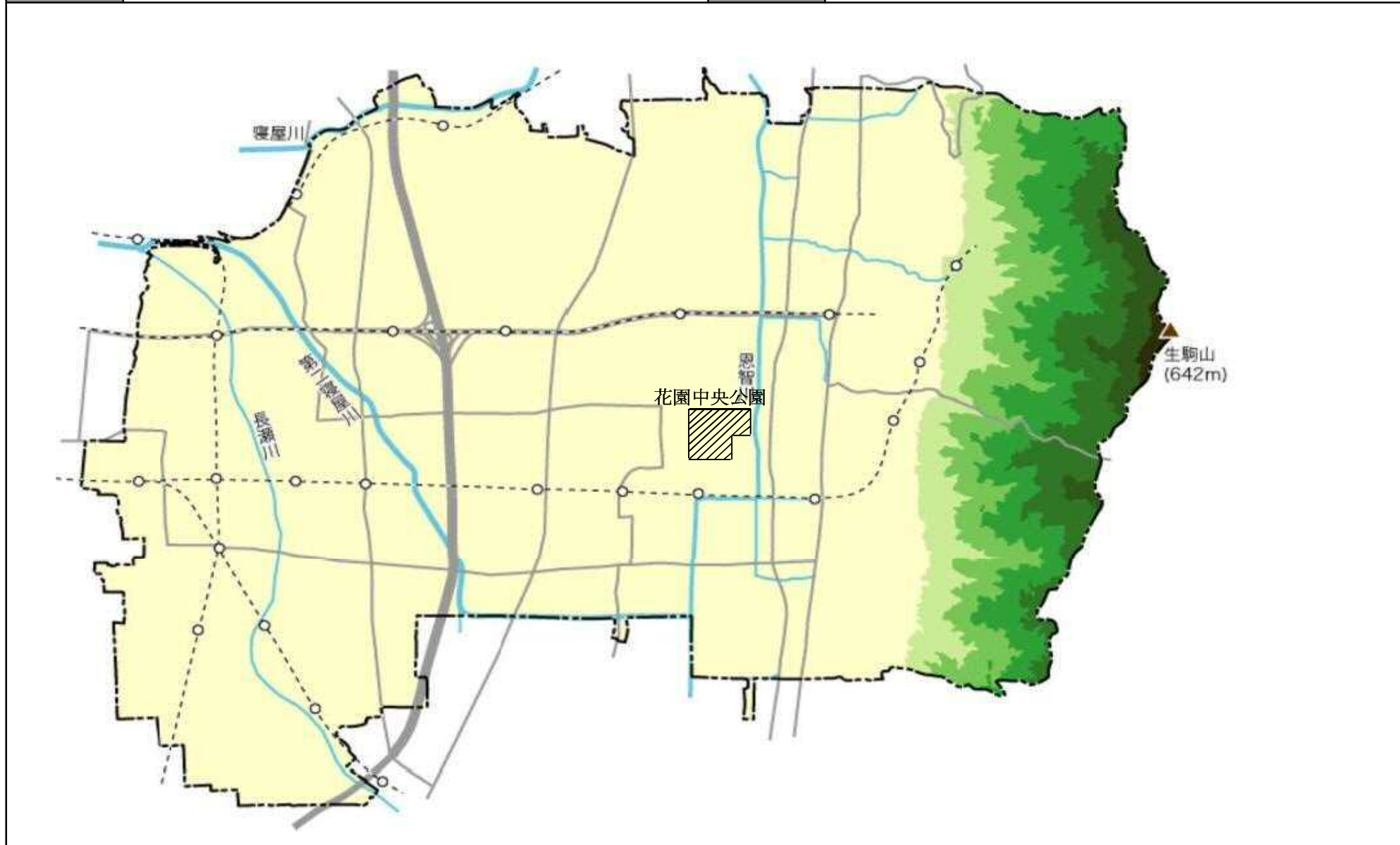
花園中央公園整備事業において、東大阪市ラグビー場の施設整備を行い、ラグビーワールドカップ2019を開催したことにより花園中央公園の知名度向上につながった。

3. 特記事項 (今後の方針等)

花園中央公園整備事業については、都市計画面積36.3haのうち27.14haを開設しており、全部開設に向けて、引き続き事業を推進していく。

(参考図面) 防災・安全交付金

計画の名称	1 東大阪市のみどりの核となり、誰もが安全で安心して利用出来る都市公園の整備 (防災・安全) (その2) (重点)		
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)	交付対象	東大阪市



社会資本総合整備計画 事後評価書

令和3年4月30日

計画の名称	1 東大阪市のみどりの核となり、誰もが安全で安心して利用出来る都市公園の整備（防災・安全）（その2）									
計画の期間	平成28年度～令和2年度（5年間）		交付対象	東大阪市						
計画の目標	市内に点在する緑である住区基幹公園等について、市民の身近な憩いの場として、バリアフリー化及び公園施設の長寿命化対策を推進し、安全・安心を確保すると共に、「東大阪市地域防災計画」に基づき、災害時には一時避難地としての機能を発揮する公園としての整備を行う。									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園移動等円滑化基準に適合された市内の都市公園の割合を44.8%（H28）から53.2%（H32）に増加させる。 公園施設長寿命化計画の長寿命化実施公園施設数の割合を、0%（H28）から100%（H32）に増加させる。 									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)				
① 都市公園移動等円滑化基準に適合された市内の都市公園の割合 都市公園のバリアフリー化率（%）＝都市公園移動等円滑化基準に適合された都市公園数／全都市公園数				44.8%	53.2%	53.2%				
② 公園施設長寿命化計画の寿命化実施公園施設数の割合 長寿命化計画達成率（%）＝実施施設数／計画施設数				0.0%	20.0%	100.0%				
③										
④										
全体事業費	合計 (A+B+C)	415百万円	A	415百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
東大阪市公園課にて実施	令和2年4月
	公表の方法
	東大阪市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H28	H29	H30	R1	R2			
A6-1	公園	一般	東大阪市	直接	東大阪市	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	都市公園バリアフリー化等	東大阪市						99		
A6-2	公園	一般	東大阪市	直接	東大阪市	公園施設長寿命化対策支援事業	陸上競技場改修等	東大阪市						214		
合計													313			
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H28	H29	H30	R1	R2		
合計																
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H28	H29	H30	R1	R2		
合計																

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心対策緊急総合支援事業により、バリアフリー化工事を行った結果、市内公園のバリアフリー化率が上昇し、公園利用者の利便性及び安全性が向上した。 ・公園施設長寿命化対策支援事業を推進した結果、築城競技場の改修、遊具更新を行ったことで、公園利用者の利便性及び安全性が向上した。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①都市公園 のバリアフリー 化の割合	最終目標値	53.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	十分な財源を確保できず、目標値を下回った。
		最終実績値	49.8%		
	指標②長寿命化 計画達成率の割 合	最終目標値	100.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	一部遊具について更新ではなく補修での対応としたため、計画値を下回った。
		最終実績値	61.7%		
		最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
	最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因		
	最終実績値				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項 (今後の方針等)					
<p>都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業については、市内の都市公園のバリアフリー化率60%に向けて、引き続き事業を推進していく。 公園施設長寿命化対策支援事業については、長寿命化計画を見直すとともに、計画に基づく公園施設の改修・更新を実行していく。</p>					

(参考図面) 防災・安全交付金

